

(参考)

1 浜岡原子力発電所における輸送実績 (2017年3月31日現在)

【新燃料】

号機	輸送回数 (回)	輸送体数 (体)
1号機	28	2,390
2号機	29	3,659
3号機	26	4,208
4号機 (注1)	17	3,100
5号機	7	1,442
合計	107 (102) (注2)	14,799

(注1) : 4号機の数字には、MOX燃料の輸送 (回数1回、体数28体) が含まれません。

(注2) : 1・2号機、1・3号機、1・4号機 (2回) および2・5号機の同時輸送のため、浜岡原子力発電所への輸送回数は102回 (カッコ内) となります。

【使用済燃料】

号機	輸送回数 (回)	輸送体数 (体)
1号機	28	1,646
2号機	29	1,960
3号機	9	1,190
4号機	2	312
5号機	2	33
合計	70 (67) (注3)	5,141

(注3) : イギリスへの1・2号機同時輸送、1号機でイギリス・フランスへの同時輸送、青森県六ヶ所村への3・4号機同時輸送のため、浜岡原子力発電所からの輸送回数は67回 (カッコ内) となります。

【低レベル放射性廃棄物】

号機	輸送回数（回）	輸送本数（本）（注4）
1～4号機	30	30,053

（注4）：浜岡原子力発電所から搬出したドラム缶の本数です。

2 使用済燃料プール内の使用済燃料の貯蔵状況（2017年2月28日現在）

号機	設備容量（体）	原子炉内に装荷する燃料の数（体）	使用済燃料最大貯蔵可能量（体）	使用済燃料貯蔵量（体）
3号機	3,134	764	2,370	2,060
4号機	3,120	764	2,356	1,977
5号機	3,696	872	2,824	2,505
合計	9,950	2,400	7,550	6,542

設備容量とは、設備的（物理的）に貯蔵可能な量です。

使用済燃料貯蔵量とは、使用済燃料プール内に実際に貯蔵されている使用済燃料の量です。（集計時点で使用済燃料が輸送用のキャスクに装荷中の場合は、搬出元号機の貯蔵量に含めています。）

なお、使用済燃料貯蔵量が、設備容量から原子炉内に装荷する燃料の数を引いた量である使用済燃料最大貯蔵可能量を下回っていることが、原子炉の運転条件となります。

【最大貯蔵可能量＝設備容量－原子炉内に装荷する燃料の数】

3 低レベル放射性廃棄物の保管状況（2017年2月28日現在）

固体廃棄物貯蔵庫	貯蔵設備容量	保管量
1号棟	7,000本相当	5,268本相当
2号棟	35,000本相当	30,341本相当
合計	42,000本相当	35,609本相当

以上